



第 28 回 法灯の宴



光 遍 寺 新 聞



平成二十年六月二十一日(土) 午後六時三十分より

平成二十年六月二十一日(土)午後六時三十分より、光遍寺本堂において法灯の宴が開催されます。今年で第二十八回目をむかえる仏教壮年会主催の恒例行事で、この日を楽しみにされている方も多いと思います。今年も、趣向を凝らした出し物や、お楽しみ福引抽選会など盛りだくさんの内容を用意して下さっていますので、是非一人でも多くご参加くださいますようお願いいたします。



第 27 回法灯の宴の様子1

元々『法灯の宴』は、普段お寺とご縁がない方、お寺の敷居が高いと感じられている方が気軽に本堂に足を運ぶことができる。『仏説阿彌陀經』の中に、現在は五濁の時代と表現されています。天災・疫病・戦争などが起こる劫濁(こうじよく)、誤った考え方がはびこる見濁(けんじよく)、人々の寿命が短くなる命濁(みやうじよく)、煩惱によって悪が蔓延する煩惱濁(ぼんのうじよく)、人々の資質が低下劣悪



法灯の宴の様子2

でくださるようにと、前任職・仏教壮年会の方々が企画してくださったものです。一般的に、仏教は身内に不幸が起こってから関わるもの、できれば関わりたくないと考えられがちですが、本来、仏教は普段の生活に密着したものです。仏教にとって最大のテーマは、「死者をどう弔(とむら)うのか。」ではなく、「この私がどう生きるのか。」ということです。

第 10 号

発行所

〒638-0315
奈良県吉野郡
天川村沢原 141
浄土真宗 派
本願寺派
仏光山 遍寺

電話番号
0747-63-0638
ホームページ
<http://www.kouhenji.org>

今月の法語

私のあたまたに
つのがあつた
つきあたつて
折れてわかつた
(榎本栄一)



光遍寺に伝わる二つの半鐘

ご存知でしたか? 光遍寺には半鐘(喚鐘)が三つ存在します。一つは、現在使われている半鐘、残りの二つは使われている半鐘です。半鐘は喚鐘ともいい、今からお勤めが始まるという合図に用いられる鐘です。この鐘を見るだけで光遍寺の歴史や先人たちの願いの大きさを感じます。しばらく本堂内に展示しておきまので、法灯の宴等にご覧いただければと思います。

大正六年度中谷區長
根来留次郎
発起人
喜多村弥吉
中西余吉
堀口亀吉

同旋中谷青年団代表者
楊枝源造
大正七年二月廿五日

喚鐘一口
為父母報恩寄附
願主中越村小平次



享保十六辛亥年
如月上澣日
和州吉野郡天河
澤原村光遍寺什物



ちょこっと
ほうわ

ある母子家庭の少女の悩みのタネは、火傷でひどくなった母親の顔でした。学校の参観日《お友だちのおかあさんは、みんな美しいのになぜ私の母だけが》といつも恨めしく思い、嫌悪さえ感じて、いっしょに外出することもいやがるようになりました。その娘の心が母親にわからないはずはありません。悲しみに耐えながら今まで、だまっていますが、ある日とうとう、思いきって、火傷の原因をうちあけることにしました。



少女が赤ん坊だった、ある冬の夜、床についてしばらくすると家が火焰につつまれていました。気がついて起きるとすでに四方八方が火の海です。もう一刻の猶予もならない中で、母親は、まずわが子を守ることを考え、落ち着いて毛布で赤ん坊の彼女の体を包み込みました。それを胸に抱き、腕にかかえて火の海の中をどうにか家の外へ逃れてきましたが、そのとき、全身に火傷を負い、中でも顔の火傷がひどくて、現在まで残ってしまいました。しかし赤ん坊は、毛布のおかげで、全く無事でした。そしてそのまま、こんにちの美しい少女に育っていきました。その母親の話聞きながら、少女は涙を流して言いました。『ひどい火傷を負ったのに、ただ私を守るために、おかあさんは、いのちをかけたんだ。おかあさん、ありがとう。そして今までそうとは知らず本当にごめんなさい』と感謝と悔恨の涙でした。火傷で引きつった母親の醜い顔が仏さまにも見えました。それ以来、少女は、母親に誇りをおぼえて、《母の火傷があるからこそ、五体健全な私がいま存在できているんだ。母が、してきたことのご恩返しは、この私には到底出来ないけど、これから出来るだけのことをします》

日々、煩惱の炎につつまれて苦悩する私を放ってはおけないと、この母親同様に、ただ私を護るがために炎の中に飛び込み抱きしめてくださっているのか阿弥陀さまです。その願いに気づかせていただき、ただただ感謝と報恩の日暮らしをさせていただきたいものです。

前号(第9号)
門信徒広場の答え



熊皮御影



鏡御影



安城御影

門信徒
広場

今回は、実際に光遍寺に足を運んでいただかなければ分かりません。法灯の宴の際、少し早めに来ていただき、調べてください。

光遍寺内陣と外陣を仕切る金襖(ふすま)をご存知でしょうか?その画法から、狩野派の襖絵であると言われていいますが、いつ、誰が描いたものなのかははっきりしていません。確かなこととしては、昭和42年5月に宗祖700回御遠忌の折に修復をしたことは分かっています。しかし、40年以上たった今では、その傷みは激しくなっています。一度、じっくりご覧になっていただくと非常におもしろいです。その襖絵の中には、なんとも愛くるしい動物がたくさん描かれています。

さて、ここで問題です。光遍寺金襖8枚に描かれている次の動物は、それぞれどれだけのいるでしょうか?目を皿のようにして探してみてください。

- ① ネコ ()匹
- ② ツル ()羽
- ③ チョウ ()匹
- ④ カメ ()匹

難しいのは④の亀だと思います。私も最近まで亀が描かれていることに気づきませんでした。いつものように、先着5名様に、素敵な記念品をご用意しておりますので、挑戦してみてください。

阿弥ちゃん!!

浄土真宗の法名は

法名釋〇〇

釋(しゃく)〇〇と漢字二字で表します。

『釋』とはお釋迦様のこと

弟子になることを意味します。

ですから...

法名をいただくべきです。

死後の名前ではありません

仏教徒として生きる決意ができれば

さんずうの 釋阿弥

返します...

し、しゃく...?あみ...? 誰??